

「英語ノート」 1

Lesson1 世界の「こんにちは」を知ろう

| 回数 | 段階 | 活動 |
|----|----------------------------|---|
| 1 | <p>聞く活動</p> <p>口まねする活動</p> | <p>■世界の「こんにちは」の言い方を知る。</p> <p>【世界の「こんにちは」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CD や担任の話す世界の「こんにちは」を聞く。 ・ どの国かを考えて出し合う。 ・ 国旗も提示しながら、国名を確認する。 <p>【キーワードゲーム】※英語ノート P.5</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2人一組になる。 ②教師が言った「こんにちは」を繰り返して言う。 ③キーワードのあいさつのときは、ペアで向き合い握手をする。 <p>例) キーワードは、ニーハオ T: こんにちは C: こんにちは T: Hello. C: Hello. T: ニーハオ C: ニーハオ ※握手をする。 以下同様に他の国のあいさつを出して続ける。</p> |
| 2 | <p>聞く活動</p> | <p>■世界の「こんにちは」を聞いてカルタゲームをする。I'm from の表現を聞く。</p> <p>【カルタ】国旗カルタを使って</p> <ol style="list-style-type: none"> ①世界地図を黒板に貼り、前回出てきた国とあいさつを確認する。 ②2人一組になり、机の上に国旗のカルタカードを広げる。 ③教師が「こんにちは」等、色々な国のあいさつを言う。 ④児童は、教師が言ったあいさつの国の国旗カードをとる。 ⑤全部の組がカードを取ったら、教師はその国の国旗を指しながら I'm from - . と言う。 |
| 3 | <p>口まねする活動</p> | <p>■世界の「こんにちは」を聞いたり言ったりする。</p> <p>【いろいろな国の「こんにちは」を言ってみる活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①世界地図を黒板に貼り、前回出てきた国とあいさつを確認する。 ②4人ほどのグループになる。各班にカルタセットを2組配る。 ③国旗カルタを裏にして重ねる。 ④児童が国旗カードをめくり、I'm from - . とその国を言う。 ⑤ほかの児童はその国の言葉で「こんにちは」を言う。 ④すべての国を言い終わったら教師に合図する。 |

| | | |
|---|----------------------------|---|
| 4 | <p>聞く活動</p> <p>口まねする活動</p> | <p>■世界のいろいろなあいさつの仕方を知ったり、My name is の表現を聞いたりする。</p> <p>【いろいろなあいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ノート P.6 を見ながら CD を聞き、世界にはいろいろなあいさつの仕方があることを知る。 <p>【My name is の表現を聞く】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師が自己紹介をする。 ② キャラクターや児童の写真をちらっとだけ見せ、My name is を教師が言い、名前の部分を児童が言う。 ③ 教師は写真や絵を全部見せ、My name is, Nice to meet you. を使って自己紹介をする。 ④ 同様に色々なキャラクターや児童の写真を出していく。少しずつ児童も一緒に言うようにする。 <p>例) T:児童の写真を少し見せて、My name is～。 C:ゆうと。 T.C:Nice to meet you. (一緒に言う)</p> |
| 5 | | <p>■名刺作り</p> <p>【自分の名刺を作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺用のカードに自分の名前、似顔絵、好きなものの絵などをかく。5枚ほど作る。(またはコピーする) |
| 6 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■となりの友だちと、自己紹介をしながら名刺交換をする。</p> <p>【同じ班の友だちと名刺交換】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師が名刺を用意しておき、児童に名刺を渡していく。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：My name is -. Nice to meet you. (名刺を渡す) ② 教師と代表の子で例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：My name is -. Nice to meet you. (名刺を渡す) 児童：(もらったら) Thank you. を言う。 ③ 交代する。(児童が自己紹介し、名刺を教師に渡す。) ④ となりの友だちと名刺交換をする。 (交換後、名刺にある絵について話をする。日本語で。) ⑤ 同じように班の友だちと名刺交換をする。 |
| 7 | <p>自分の意思で選んで発話する活動</p> | <p>■クラスの友だちと名刺交換をする。</p> <p>【名刺交換】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の名刺を友だちと自己紹介しながら交換する。 ② カードを渡すときには Here you are. もらったら Thank you. を言う。 ③ もらったカードを英語ノートに貼り付ける。 |

Lesson2 How are you? I'm happy.

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|---------|---|
| 1 | 口まねする活動 | <p>■ 様々な感情を表す表現を知る。happy hungry sleepy fine 等</p> <p>【キーワードゲーム】 英語ノート指導資料P 48 参照</p> <p>② 教師がジェスチャーで happy, hungry, sleepy, fine を示す。</p> <p>③ 黒板に、感情を表す絵カードを貼る。</p> <p>④ 教師が指した絵カードをリピートして発音する。 T: Happy. C: Happy. T: Hungry. C: Hungry. 同様に繰り返す。</p> <p>④ ペアで向かい合って座り、キーワードを決める。</p> <p>⑤ 教師→児童→手拍子 2 回の要領でゲームを進めていく。 T: Happy. C: Happy. パン・パン T: Hungry. C: Hungry. パン・パン</p> <p>⑥ キーワードになったらリピートせずにケンゴムをとる。</p> |
| 2 | 聞く活動 | <p>■ happy hungry sleepy fine の表現を聞いて、カードを取る。</p> <p>【カルタ】</p> <p>① 教師が指した絵カードをリピートして発音する。 T: Happy. C: Happy. T: Hungry. C: Hungry. 同様に繰り返す。</p> <p>② 2 人一組になり、カルタカードを広げる。</p> <p>③ 教師が、happy, hungry, sleepy, fine の単語を一つずつ言い、児童がそのカードを取る。</p> <p>⑤ 2 回目は教師がジェスチャーをして、児童がそのカードを取る。</p> <p>⑥ 3 回目、4 回目は 4 人一組になり、カードを一緒にする。今度は、グループの中で一人が教師役をして単語を言い、他の児童がカルタをとる。</p> |

| | | |
|---|---------------|---|
| 3 | 聞く活動 | <p>■How are you?の表現を知り、進んでジェスチャーをする</p> <p>【ALT がいる場合】</p> <p>ALT: ~sensei. How are you? HRT: I'm hungry (動作をしないで言葉だけ) (少し考えて) HRT: (おなかがへった動作で) I'm hungry ALT: OH That's right! I'm hungry 担任がALTに尋ねる。子どもたちはALTの動作をまねながら、I'm ~と言う。他の動作も同様に。</p> <p>【ジェスチャーゲーム】</p> <p>① ALTが~sensei. How are you? とたずねる。 ② 教師は happy hungry sleepy fine の中から1つ選んで、その様子を表すジェスチャーや表情をしてみせる。 ③ 児童が当てる。 ④ 教師が答えを I'm ~と言う。 ⑤ ゲームの後ジェスチャーのある・なしの場合の感じ方の違いについて話し合わせるとよい。</p> |
| 4 | 口まねする活動 | <p>■How are you?の問いかけに、I'm ~ で答える。</p> <p>【教師からの質問に答える】</p> <p>① 教師は絵カードを指しながら How are you?とたずねる。 児童は指された絵カードを見て I'm ~と答えてみる。 T: How are you? (happy hungry sleepy fine) の絵カードを1枚ずつ示す。 C:I'm~. 以下繰り返す。 ② 担任とALTで分担して両端から1人ずつにたずねていく。</p> |
| 5 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■I'm ~.(happy hungry sleepy fine) で友だちとあいさつをする。</p> <p>【ジェスチャーをつけて答えてみよう】</p> <p>① ALTと担任でやってみせる。 A : Hello . B : Hello. A : I'm fine. B : I'm happy. AB Good-bye.</p> <p>② 教室を歩いて友達同士であいさつし合う。 最後に国際理解活動として、英語ノートP12を使って、国によってジェスチャーが違うことを確認するとよい。</p> |

| | | |
|---|-----------------|---|
| 6 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■How are you?とたずねたり、I'm ~ で答えたりする。</p> <p>最初に英語ノートP 14を扱う。 同じ表現でも「初対面」と「知り合い」とでは、声のトーンやジェスチャーが変わることを知り、コミュニケーションではジェスチャーや声のトーンが大切であることを知る。</p> <p>【リレーゲーム】</p> <p>① 列毎にチーム前後であいさつをしていく。 前：Hello. 後：Hello. 前：How are you? 後：I'm fine Good-bye (後ろを向いて) Hello. と以下同様に回していく。</p> <p>② 一番後ろの人にあいさつが回ったら先頭に来てあいさつをする。全員ができたなら座る。 ※競争にしたりせず、ジェスチャーや声のトーンが上手に表現できていたチームをALTに選んでもらい褒めるとよい。</p> |
| 7 | 自分の意思で選んで発話する活動 | <p>■How are you.と問いかけ、I'm ~ で答える。</p> <p>【友だち同士でたずねてみよう】</p> <p>① 英語ノート15を開かせる。 ② 教師とALTでやり方を示す。 A：Hello. B：Hello. A：How are you? B：I'm fine (ジェスチャーをつけて) How are you? A：I'm happy (ジェスチャーをつけて) それぞれノートに○をする AB Good-bye (ジェスチャーをつけて)</p> <p>③ 友だち同士でやってみよう。 ALTや担任とあいさつをするように促したり、子どもの様子を見て、よかったところ(ジェスチャーや声のトーン)をALTの先生に褒めてもらうようにしたりするとよい。</p> |

Lesson3 How many~?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|---------------|--|
| 1 | 口まねする活動 | <p>■1~10 までの言い方に慣れる。</p> <p>【10 steps ♪】</p> <p>① 黒板に 1~10 までの数字を書き、教師の後に数字を言ってみる。 T: One.C:One. T: Two. C:Two.以下繰り返す。(数字を指して)</p> <p>②7steps のリズムに合わせて一緒に歌う。</p> <p>③キーナンバーを決めて、そのナンバーの時は歌わずに、手をたたくななどの動作をつけて歌う。</p> |
| | 聞く活動 | <p>【数字カルタ】</p> <p>① 11~20 までのカードを順番に示し、教師のあとに言ってみる。</p> <p>② 2人一組になり、11~20 までのカルタカードを広げる。</p> <p>③ 教師が言った数字を児童がとる。</p> <p>④ 相手をかえて繰り返し行う。</p> |
| 2 | 口まねする活動 | <p>■1~20 までの言い方に慣れる。</p> <p>【20 steps ♪】</p> <p>①黒板に 1~10 までの数字を書き、教師の後に数字を言ってみる。 T: One.C:One. T: Two. C:Two.以下繰り返す。 (教師は、数字を指しながら言う。)</p> <p>②7steps のリズムに合わせて一緒に歌う。</p> <p>③キーナンバーを決めて、そのナンバーの時は歌わずに、手をたたくななどの動作をつけて歌う。</p> |
| | 聞く活動 | <p>【Dot to Dot】</p> <p>英語ノート 1 P18 ページの CD を聞いて、聞こえた数字を順に線で結ぶ活動。(詳細は、指導資料参照)</p> |
| | 口まねする活動 | <p>【Don't say 21 ゲーム】</p> <p>2人組で順番に数字を言い、21 を言ってしまった方が負けとなる。</p> <p>① 黒板に 1~21 の数字を書きながら、児童に数字を言わせる。</p> <p>② ゲームの説明をする。(実際に代表の子を出してやりながら) 教師：1,2,3 児童：4,5 教師：6 児童：7,8,9 1人3つの数字まで言って良い。21 を言った方が負けになる。 (仕組みは教えないでおく)</p> <p>③ となり同士などでペアを作り、ゲームを行う。</p> |
| 3 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■1~20 までの数字を聞いたり言ったりする。</p> <p>【英語ノート P20 スネーク&ラダーゲーム】 ※ルール詳細は、指導資料</p> <p>①黒板に掲示してルールを説明する。代表の子を出して、その場</p> |

| | | |
|---|----------------------------------|---|
| | | <p>でやってみせる。</p> <p>② 2人組でゲームをする。</p> <p>③ 2回目は、相手をかえて行う。</p> |
| 4 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■1~20までの数字を聞いたり言ったりする。</p> <p>【英語ノート P19 数字ピラミッド】 ※ルール詳細は、指導資料参照</p> <p>①黒板に掲示してルールを説明する。代表の子を出して、その場でやってみせる。</p> <p>②1人の友だちとは、1回。たくさんの友だちとやる。</p> |
| 5 | <p>聞く活動</p> <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■How many~?を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【How many~?】</p> <p>①野球、サッカー、バスケ、バレー、水球、ラグビー、アメフト、ラクロスなどの1チームが何人かを聞く。</p> <p>【妖怪カルタ】</p> <p>足や目がいっぱいある妖怪のカルタを用意する。 教師に How many eyes?と質問をしてとる活動。</p> <p>① 最初は、教師が Two legs. Five mouths 等ヒントを出し、児童がそのカードを取る。</p> <p>T:目のカードを見せる。 C: How many eyes? T:two eyes.</p> <p>T:鼻のカードを見せる。 C: How many noses? T: Five noses.</p> <p>C:どのカードか分かったらとる。</p> <p>②慣れてきたら、児童が順番にヒントを出す役になる。 教師は、How many ~?と質問をする。</p> |
| 6 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■How many~?を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【妖怪カルタ】</p> <p>グループごとに前時のカルタを使ってヒントゲームを行う。</p> <p>①グループの中でヒントを出す人と質問する人を決める。</p> <p>②1回やったら順番に回していくなど、交代をする。</p> |
| 7 | 自分の意思で選んで発話する活動 | <p>■How many~?を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【いくつ持っているか友だちにインタビュー】 ※名簿を配布</p> <p>①持っている数を聞いてみたいことを1つ決める。</p> <p>②教師と代表の子で例示をする。</p> <p>A: Hello. B: Hello.</p> <p>A: How many TV games. B: Two.</p> <p>B:How many 漫画本. A: 35.</p> <p>(英語が分からなければ、担任やALTに聞きに行けると良い。)</p> <p>③クラス全員にインタビューする。</p> <p>④時間があれば、〇〇が1番は、～さんです。と発表する。</p> |

Lesson4 ① I like~/I don't like~.

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|------------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■単元で使用する単語になれる。</p> <p>【カルタゲーム】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2人一組になり、カルタカードを机に広げる。 ② 教師が言った単語を取る。 ④ 慣れてきたら、教師は単語のヒントを出す。 |
| 2 | 聞く活動 聞く活動 | <p>■I like~. I don't like~.の導入</p> <p>【キャラクターヒントクイズ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師がヒントを I like-. I don't like-.を使って出す。 T:I like じゃがいも. T: I don't like mice. ② 子どもたちは、ヒントを聞き、キャラクターを当てる。 ドラえもん、クレヨンしんちゃん等 ※ヒントの例 I am blue. I am round. I like じゃがいも. <p>【カルタ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2人一組になり、カルタカードを机に広げる。 (前時に使用したカードを同じもの) ② 教師が I like~. と言った時だけ、児童はそのカードをとる。 (I don't like のときはとらない) |
| 3 | 聞く活動 | <p>■I like, I don't like を使った色々なヒントの出し方を聞く。</p> <p>【ヒントカルタ】※動物とキャラクターのカルタカードを用意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2人一組になり、カルタカードを広げる。 ② 教師が I like, I don't like のヒントを出す。 T:I like fish. etc I don't like ③ 児童は、何の動物か分かったらカードをとる。 <p>例)</p> <p>さる . . . I like bananas. I don't like dogs. ネズミ . . . I like cheese. I don't like cats. うさぎ . . . I like carrots. I don't like cats.</p> |
| 4 | 聞く活動 | <p>■色々なヒントの出し方を聞き、誰のことを言っているか考える。</p> <p>【先生あてクイズ (Who am I?)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事前に学校の先生の好きなものと嫌いなものを聞いておく。 ② 黒板に先生たちの写真を貼り、やることを説明する。 ③ 教師が I like ~. I don't like ~. のヒントを出す。 ④ 児童は、グループで相談してどの先生か当てる。 |

| | | |
|---|----------------|--|
| | | <p>【I like~. I don't like~. シートの記入】</p> <p>①シートを配布する。 ②各自記入する。</p> |
| 5 | 記憶して自分のものにする活動 | <p>■I like, I don't like を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【Who am I?ゲーム】</p> <p>①前の時間に作成したカードを見ながら、最初は教師が I like, I don't like で他己紹介をする。 ②慣れてきたら代表の子どもが、前時に作成したカードを1枚ひき、I like, I don't like を使って他己紹介をする。 ③聞いている児童は、誰かを考える。</p> |
| 6 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■I like, I don't like を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【自己紹介】</p> <p>①教師が例示を示す。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：I like~. I don't like~.を使って自己紹介をする。 児童：聞いた相手は、Really? Me, too. I don't like ○○など、反応をする。 ②交代する。 ③時間までたくさんの友だちとインタビューをする。</p> |
| 7 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■自分でヒントを考えて言う。</p> <p>【カードを1枚ひいて、ヒントを考えて出す活動】</p> <p>動物やキャラクターのカルタカードを用意する。</p> <p>①グループになり、カードを裏にして積み重ねる。 ②代表の子どもがカードをひき、I like, I don't like を使ってヒントを出し、みんなに当ててもらおう。(ヒントが分からなければ、パスしても良い) ③決められて時間内に何問正解できるかを競う。</p> |

Lesson4②Do you like~? /What~ do you like?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|---|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■Do you like~?の導入活動</p> <p>【キャラクターヒントクイズ】</p> <p>①教師は、たくさんのキャラクターカードを用意する。 ②最初は、ドラえもんカードで例示をする。 ③ドラえもんのカードを選び、児童1人に渡す。 教師：Do you like mice? 児童：No. 教師：Do you like 押し入れ? 児童：Yes. 教師：Do you like じゃがいも? 児童：Yes. ④以降別のキャラクターカードで繰り返す。</p> <p>【一人ずつに質問】</p> <p>① 教師が、一人ずつに絵カードを見せて、Do you like~?と質問をし、答えさせる。</p> |
| 2 | 口まねする活動 聞く活動 | <p>■Do you like~?を聞いたり、みんなで言ったりする活動をする。</p> <p>【Guessing game】</p> <p>①児童にはじから、絵カードを見せ Do you like~?と質問をする。 ②1人の子を立たせる。 ③立っている子が Yes .No.のどちらを言うかを予想する。 ④みんなで Do you like~?と質問する。 ⑤数人の子たちに対して行う。</p> <p>【英語ノート P26 Let's listen】</p> <p>①英語ノート P26 の活動を行う。 ②教師が一文ずつ区切って読む。 ③CD を使う場合は、一文ずつでストップさせるなどする。</p> |
| 3 | 自分の意思で選んで発話する活動 | <p>■ Do you like~? を使って、インタビュー活動をする。</p> <p>【インタビュー】</p> <p>①英語ノート P28 の好きなものを記入する。 ②教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Do you like~? 児童：Yes, I do./No, I don't. 交代して質問をする。 ○か×の欄に名前を記入する。 ③時間までたくさんの友だちに聞く。</p> |

| | | |
|---|--------------|---|
| 4 | 口まねする活動 | <p>■What~ do you like?の導入の活動</p> <p>【What ~do you like?を】</p> <p>①黒板に果物等の絵カードをたくさん貼る。 ②児童に What fruits do you like?と質問する。I like~.と答える。 ③数人繰り返す。 ④教師がはじから1人ずつに What ~do you like?の質問をする ※~の部分は、スポーツ、アニマル、カラー等と変えて質問する。</p> |
| 5 | 口まねする活動 | <p>■What~ do you like? I like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【カルタゲーム】</p> <p>①4人1組になり、動物・果物・色・食べ物カード等を並べる。 ②教師が What~ do you like? とはじから聞いていく。質問された児童が I like~.と答えたカードを取る。</p> |
| 6 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What~ do you like? I like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【大好きランキング表①】 ※学級の名簿を用意する。</p> <p>①クラスのお気に入りランキングを作ることを話す。 ②何のランキングを作りたいかを各自考える。 例) スポーツ、漫画、テレビ番組等 英語で分からないものは、担任に質問する。(日本語でも可とする) ③自分のシートに沿って、質問をしていく A: Hello. B: Hello. A: What~do you like? B: I like~. 交代して質問する。</p> |
| 7 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What~ do you like? I like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【大好きランキング表②】</p> <p>①前時の続きで質問を続ける。 ②ランキング上位3位を別の用紙に記入する。 ③各自ベスト3を発表する。</p> |

Lesson5 Do you have~?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|---|---|
| 1 | 口まねする活動 聞く活動 | <p>■洋服等の英語の言い方英語で聞く。</p> <p>【キーワードゲーム】</p> <p>①洋服の絵カードを児童に見せ、教師の後に言わせる。 ②黒板に洋服の絵カードを貼る。 ④ 教師に続けて発音していく。 T:cap C:cap パン・パン T:shoes C:shoes パン・パン・・・ ④キーワード決めて、その単語の時は言わずに手を叩くなど変化をつける。</p> <p>【カルタゲーム】</p> <p>①2人一組になり洋服の絵カードを広げる。 ②教師が英語で言った絵カードを取る。 ③洋服等に色が入っていれば、Red~.と色を加えて言う。</p> |
| 2 | 聞く活動 | <p>■Do you have~?を聞いて、Yes/No で答える。</p> <p>【教師から児童への質問】 児童が持っている物を聞く活動</p> <p>①教師が例示を示す。 T: I have~. Do you have~?(実物か写真を示しながら行う) C: Yes, I do. No, I don't.で答える。 いくつか例示として用意をしておき、沢山の児童に質問する。</p> |
| 3 | 口まねする活動 | <p>■Do you have~?を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【ビンゴゲーム】</p> <p>① 1人1束の持ち物カードを配布する。 (ゲームや漫画本等一人に12枚ほど教師が用意しておく)</p> <p>②その中から、9枚のカードを選んで3×3で並べる。 ③教師が持ち物カードから1枚カードを選ぶ。 ④児童1人にDo you have~?と聞く。聞かれた児童がYes ,I do.と答えたら、クラスの子たちは、自分の並べてあるそのカードを裏返す。 ⑤以下繰り返し。慣れてきたら、質問をみんなで一斉にする。</p> |
| 4 | | <p>■次時に使用する洋服のカードに色を塗る。</p> <p>【色塗り】</p> <p>①英語ノートの後ろの洋服に色塗りをする。 ②準備できれば、他の衣装シートも用意する。(あった方が楽しい)</p> |

| | | |
|---|--------------|---|
| 5 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■Do you have~?を使って、買い物をする。</p> <p>【洋服探し活動①】 英語ノート P32 の男女のイラストに服を貼る。</p> <p>①英語ノートの P32 を開く。</p> <p>②買い物をする子たちとお店をやる子たちに分ける。4 人の班で 2 人がお店、2 人がお客になる。</p> <p>② お店をやる子たちは、前時に作成した洋服を机に並べる。</p> <p>③ 男子は男子のイラスト、女子は女子のイラストに貼る服を選びに行く。</p> <p>④教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Do you have red shoes? 児童：Yes, I do. 児童：Here you are . (渡す)</p> <p>⑤ 一つのお店では、一つしか買えない。</p> <p>⑥ 時間で、買い物役とお店役を交代する。</p> |
| 6 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■Do you have~?を使って、買い物をする。</p> <p>【洋服探し活動②】 英語ノート P32 の男女のイラストに服を貼る。</p> <p>①英語ノートの P32 を開く。</p> <p>②買い物をする子たちとお店をやる子たちに分ける。4 人の班で 2 人がお店、2 人がお客になる。</p> <p>④ お店をやる子たちは、前時に作成した洋服を机に並べる。</p> <p>⑤ 男子は女子のイラスト、女子は男子のイラストに貼る服を選びに行く。</p> <p>④教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Do you have red shoes? 児童：Yes, I do. 児童：Here you are . (渡す)</p> <p>⑦ 一つのお店では、一つしか買えない。</p> <p>⑧ 時間で、買い物役とお店役を交代する。</p> |
| 7 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■Do you have~?を使って、友達に持ち物のインタビューをする。</p> <p>【持ち物インタビュー活動】</p> <p>① 学級の名簿を一人 1 枚配布する。</p> <p>② 友だちに持っているかどうか聞きたいものを決める。</p> <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Do you have~? 児童:Yes, I do./No, I don't. 交代して、児童が質問をする。 Yes ならば、名簿に○をする。No ならば、名簿に×をする。</p> |

Lesson6 What do you want?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|------------------------|--|
| 1 | 口まねする活動 | <p>■日本にある外来語は、英語では違う発音をするということを知る。</p> <p>【外来語の発音】</p> <p>①英語ノート P36,37 の単語の絵カードを子どもたちに提示する。 ②教師：What's this?と聞き、子どもたちに何かを言わせる。 ③教師：英語の発音を聞かせる。 ④指導資料を参考に、発音が違うものや意味が異なるものなどを紹介する。</p> |
| 2 | 口まねする活動 口まねする活動 | <p>■日本語と外来語の発音の違いに慣れる</p> <p>【キーワードゲーム】</p> <p>①黒板に英語ノート P36,37 の絵カードを貼る。 ②教師に続けて発音していく。 ③キーワード決めて、その単語の時は言わずに手を叩くなど変化をつける。</p> <p>【カルタゲーム】英語ノート P36,37 のカルタカードを用意する。 ①2 人一組になりカードを広げる。 ②教師が英語の発音で単語を言ったらカードを取る。日本の発音で言ったらカードは取らない。</p> |
| 3 | 聞く活動 聞く活動 | <p>■What do you want?の導入</p> <p>【フルーツパフェづくり】</p> <p>①デジタルコンテンツ P40 を開く ②教師が例示をする。I want~.と言いながら、自分のパフェを作っていく。 ③子どもを1人前に出し、教師が Let's make パフェ. What do you want? と聞く。 ④1 つ選ぶ毎に What do you want?と聞く。 ⑤数人の子どもに行う。</p> <p>【Let's Listen②】英語ノート P39</p> <p>① 英語ノートの P39 を開かせる。 ② CD を使う場合は、健と麻衣を分けて行う。 ③やり方の詳細は、指導資料 P94 を参照</p> |

| | | |
|---|----------------------------------|---|
| 4 | 口まねする活動 | <p>■What do you want?/I want ~. を言ったり聞いたりする。 【お誕生日フルーツバスケット】 ①普通のフルーツバスケットゲーム。 ②鬼になったら「お誕生日プレゼントの箱」を持ってサークルの真ん中に立つ。 全員：What do you want? 鬼：I want・・・DS! ③DSがほしい人は移動する。</p> |
| 5 | <p>聞く活動</p> <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■Who am I?クイズでWhat do you want?や、I want~.を聞いたり、言ったりする。 【自分が欲しい物を紙に書く】 ①教師が自分の誕生日を示し、I want~.と欲しい物を3つほど黒板に書く。 ②子どもたち数人にWhat do you want for your birthday?と聞き、答えさせる。 ③欲しい物シートに、自分が欲しい物を4つ書かせる。</p> <p>【Who am I?クイズ】 ①書いた欲しい物シートを封筒の中に全員分を入れる。 ②1枚出して、子ども達全員でWhat do you want?と言わせる。 ③教師は、I want~.と書かれた単語を言っていく。 (教師が数回やったら、子どもに引かせて言わせる役をやらせる) ④4つのヒントが出たところでWho am I?と聞く。以下繰り返す。</p> |
| 6 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What do you want?/I want ~. を言ったり聞いたりする。 【クラスの友達に誕生日プレゼントで欲しい物を聞く】 ①誕生日に欲しい物ベスト3を予想する。 ②学級名簿を1人1枚渡す。 ③教師が数人の子と例示を示す。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What do you want? 児童：I want~. 教師：Me ,too. Good .Really? 等反応をする。 児童が、What do you want?の質問をする。 ④時間になるまで、たくさんの仲間にインタビューをする。</p> |
| 7 | 自分の意思で選んで発話する活動 | <p>■What do you want?/I want ~. を言ったり聞いたりする。 【みんなでポーカー】(通常は、グループでやるが、今回は学級みんなで歩き回ってカードを交換する) ①トランプを1人5枚配る。 ②教師が説明をする。 ワンペア、ツーペア、スリーカード、ストレートなど例示。 ③やり方を例示する。※1人には、1回しか聞けない。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What do you want? 児童：I want~. 教師：Ok. Here you are/ .No. Sorry. 児童が、What do you want?の質問をする。 ④時間を区切って終わりにして、結果を聞く。</p> |

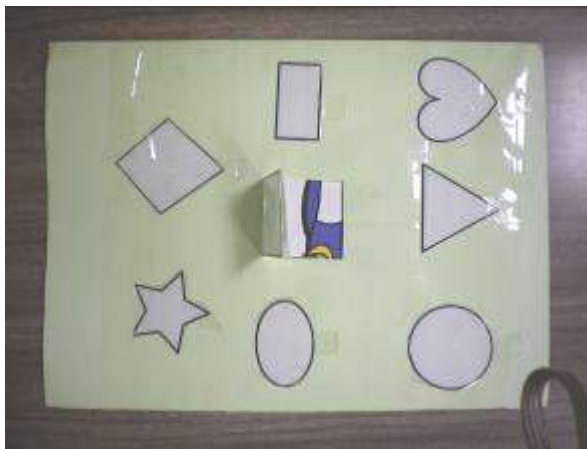
Lesson7 What's this?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|-------------------------|--|
| 1 | <p>聞く活動 口まねする活動</p> | <p>■What's this? を聞いて、What's this?が表す意味を理解する。</p> <p>【穴あき封筒】※資料参照</p> <p>①絵カードが入る大きさの封筒を用意し、穴を開け扉にする。 扉には「?」マークを書いておく。</p> <p>②これまで習った絵カードを入れ、What's this?と聞きながらゆっくりと扉を開ける。</p> <p>③何の絵カードか子どもたちに当てさせる。</p> <p>④当たったら Good! It's ~.と答えを英語で発音し聞かせる。児童に繰り返させてもよい。</p> |
| 2 | <p>聞く活動 口まねする活動</p> | <p>■What's this? を聞いて、It's ~. で答える。</p> <p>【ブラックボックスゲーム】※資料参照</p> <p>① 箱を用意し手が入られるような穴を開けておく。(全員の子どもに見える窓をつけておくとよい。)</p> <p>② ウォームアップに出たものと同じ文房具を用意する。</p> <p>③ 児童1人が前に来て後ろを向く。</p> <p>④ 教師が文房具を1つ入れる。</p> <p>⑤ 児童に前を向かせ、What's this?と聞く。</p> <p>⑥ 児童は手を入れて、何が入っているかを当てる。 簡単な場合は、手袋をつけさせたり、指先だけにしたりして難度を上げてよい。野菜や果物の模型や動物の人形を入れるなどしてもよい。</p> |
| 3 | <p>聞く活動</p> | <p>■What's this? It's ~. を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【3ヒントゲーム】</p> <p>① 絵カードを用意して「超ミニミニ穴あき封筒」に入れる。</p> <p>② 教師：What's this?とたずねミニ扉を開ける。 児童：???</p> <p>教師：Hints. It's ~. とヒントを出していく。 ヒントは難～易へと出すと盛り上がる。 虎なら 1st hint It's animal. 2nd hint It's stripes. 3rd hint ♪六甲おろし♪を教師が歌う。など…</p> <p>③ 当てた児童に次のカードを選ばせる。 児童：What's this? (3つのヒントは教師が出してあげる。) 他の児童が答える。</p> |

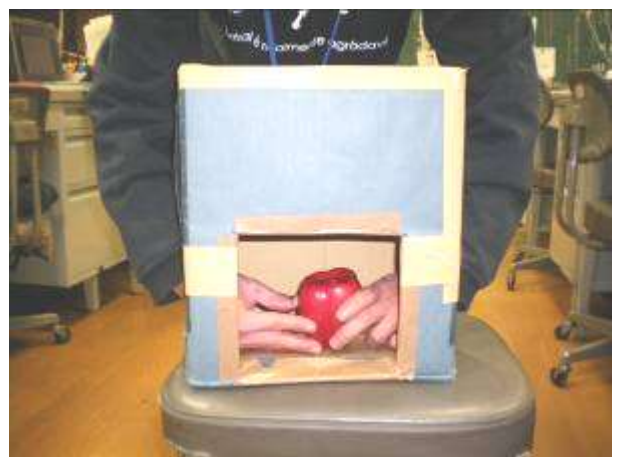
| | | |
|---|--------------|---|
| 4 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What's this?とたずねたり、It's ～. で答えたりする。</p> <p>【ヒントゲーム2】</p> <p>子どもたちが知っている絵カードを用意する。 果物、動物、食べ物など</p> <p>① 代表児童1名を前に出させ、全員の方を向いて椅子に座らせる。</p> <p>② 教師は代表児童の後ろに立ち、絵カードを1枚全員に示す。</p> <p>③ 教師の合図で、全員がWhat's this?とたずねる。</p> <p>④ 代表児童:Hint please.と言う。(最初は教師が「Hint please.」と耳打ちしてあげる)</p> <p>⑤ 子どもたちは、代表児童が答えられるように、知っている言葉を使ってヒントを出していく。(必ずしも、It's ～. で言えなくてもよい)</p> <p>* 「うまく当てた子」を褒めるとともに「上手なヒントを出した子」も大きく褒める。</p> |
| 5 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What's this?とたずねたり、It's ～. で答えたりする。</p> <p>※前時と同じ活動</p> <p>【ヒントゲーム2】</p> <p>子どもたちが知っている絵カードを用意する。 果物、動物、食べ物など</p> <p>①代表児童1名を前に出させ、全員の方を向いて座らせる。</p> <p>②教師は代表児童の後ろに立ち、絵カードを1枚全員に示す。</p> <p>③教師の合図で、全員がWhat's this?とたずねる。</p> <p>④代表児童:Hint please.と言う。(最初は教師が「Hint please.」と耳打ちしてあげる)</p> <p>⑤子どもたちは、代表児童が答えられるように、知っている言葉を使ってヒントを出していく。(必ずしも、It's ～. で言えなくてもよい)</p> <p>* 「うまく当てた子」を褒めるとともに「上手なヒントを出した子」も大きく褒める。</p> |
| 6 | | <p>■ヒントクイズのヒントを考える。</p> <p>※時間がかかる。</p> <p>【ヒントクイズを作ってみよう】</p> <p>次時にヒントクイズ大会をすることを告げる。グループでどんな問題を出すか話し合わせる。</p> <p>① 4人グループに分かれて、グループ内で相談して答えとなる絵カードを作る。絵が苦手なら字でもよい。</p> <p>② どんなヒントが考えられるか、グループで相談する。 ヒントは、必ずしもIt's ～. の言い方にあてはまるものでなくてもよいことにする。(単語や外来語、ジェスチャーなど、相手に伝えようとしていればどのような表現でもよい)</p> <p>③ グループ内でカードを交換してヒントクイズをやってみる。</p> |

| | | |
|---|--------------|---|
| 7 | 自分で選んで発話する活動 | <p>■What's this?とたずねたり、It's ～. で答えたりする。</p> <p>【ヒントクイズ大会をしよう】</p> <p>① グループの中で前半と後半に分ける。</p> <p>② 前半の子達は、最初ヒントを出す。後半の子たちは、他のグループの場所に行きクイズに答える。</p> <p>③ 時間で、前半と後半を交代する。</p> |
|---|--------------|---|

※ 資料
穴あき封筒の例



ブラックボックスの例



Lesson8 I study Japanese?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|---------|--|
| 1 | 聞く活動 | <p>■教科名を英語で何というか知る。</p> <p>【ヒントクイズ】</p> <p>①教師が、教科名に関する3ヒントを出す。 ②児童は、分かったら手を挙げて言う。 児童が日本語で答えたものを、教師が英語で言い返して黒板にその教科の絵カードをはる。 ※ヒントの例 国語・・・①Story about the fox called ゴン。 ②In Japan, Japanese. In America, English. ③ひらがな、かたかな、漢字</p> |
| | 聞く活動 | <p>【Let's Listen】</p> <p>①英語ノート50、51ページを開く ②やり方については、指導資料P122参照</p> |
| 2 | 口まねする活動 | <p>■教科名の英語の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【キーワードゲーム】</p> <p>①黒板に教科の絵カードを貼る。 ②教師の後にリピートして言う。 ③キーワードを決める。キーワードの時は、言わずに手を叩く。</p> |
| | 聞く活動 | <p>【カルタ】教科のカルタカードを使用する。</p> <p>①教師が教科を言う。子どもたちは、言われた形だけをとる ②speed flip game カルタを裏返しにしておく。 教師が言った教科を早く見つけた人がとれる。 ③前時に使用したヒントを教師が言い、児童にとらせる。</p> |
| 3 | 口まねする活動 | <p>■曜日の英語の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【カルタ】曜日のカルタカードを使用する。</p> <p>①教師が言う。子どもたちは、言われた形だけをとる。 ②speed flip game カルタを裏返しにしておく。 教師が言った教科を早く見つけた人がとれる。</p> |
| | 聞く活動 | <p>【Let's Listen】※やり方については、指導資料P126参照 ①英語ノート53ページを開く</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>4</p> <p>口まねする活動</p> <p>口まねする活動</p> | | <p>■教科名の英語の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【ビンゴ】 英語ノート P52 ページの活動</p> <p>①英語ノートの巻末にある教科のシートを切り取る。 ②英語ノート p52 のシートを使ってビンゴをする。 ③やり方の詳細については、指導資料 P126 を参照。 教科名を言うだけではなく、I study~.と言う。 教師の後に児童も一緒に言ってみる。 T: I study Science. C: I study Science. カードを裏返す。</p> <p>【パチパチゲーム】</p> <p>①英語ノート P53 (Let's listen で作ったシートを使う) ②グループになり、机を向かい合わせる。 ③ジャンケンをして勝った子から次のようにゲームをすすめる。 何曜日に何の教科があるかを一人ずつ言うのを順番に繰り返す。 誰かが言えなくなったら、そこで1回戦が終わる。 A:Monday math パチパチ (パチパチは、手を叩く) B:Friday Music パチパチ C:Tuesday Japanese パチパチ 誰かが間違えるか、言えなくなるまで繰り返す。</p> |
| <p>5</p> <p>聞く活動</p> | | <p>■世界の国々の教科を知る。</p> <p>【世界の学校の教科の紹介】</p> <p>①世界の国々の小学校の教科を紹介するので、どこの国かを予想することを伝える。 ②各国の時間割を紹介する。(インターネットで検索) ③どこの国かを考えさせる。 ④簡単に説明する。 ⑤気が付いたことを発表させる。</p> |
| <p>6</p> <p>記憶し自分のものにする活動</p> | | <p>■I study~.の言い方に慣れる。</p> <p>【Go fish game】</p> <p>①英語ノート指導資料 P131 に紹介されているゲーム。 ②ルールがちょっと難しいので、実際に数名の児童で例示をする。</p> |
| <p>7</p> <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | | <p>■友達の時割を作る。</p> <p>【友達の時割表作り】</p> <p>①英語ノート P55 を開き、巻末の教科のカードを用意する。 ③代表の児童を一人前に出し、教師が黒板で例示をする。 ペアになり、片方が曜日を言う。もう片方がその曜日に行いたい教科名を英語で答える。 T: On Monday. C: I study Science. I study Math. I study P.E. 教師は、児童が言った教科のカードを時間割表に貼る。 ④ペアになり同じようにする。</p> |

Lesson9 What would you like?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|-----------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■食べ物の英語の言い方を聞いて慣れる。</p> <p>【食べ物ヒントカルタ】</p> <p>①2人一組になり、英語ノート巻末の食べ物カルタを1セット並べる。</p> <p>②教師は、3ヒントで食べ物のヒントを出す。</p> <p>③児童は、分かったら取る。</p> <p>※ヒントの例</p> <p>It's sweet. It's cold. It's white, black, pink . . .</p> |
| 2 | 口まねする活動 | <p>■食べ物を英語で聞いたり、言ったりする。</p> <p>【食べ物パチパチゲーム】</p> <p>①食べ物のグルーピングを教える。</p> <p>Drinks, Fruits, Vegetables, Japanese food, Breakfast, Lunch, Dinner 等の</p> <p>②グループ（4人位）になり、真ん中に食べ物カードを裏にして重ねておく。</p> <p>③グループで1人が、食べ物カードを引く。</p> <p>そこに書かれているものと同じグループのものを、順番に英語で言っていく。</p> <p>カードを引く（Drinks だとする）</p> <p>パチパチ（手を2回叩く）</p> <p>A: ミルク。パチパチ B: コーラ。パチパチ</p> <p>C: ティー。パチパチ D: オレンジジュース。パチパチ</p> <p>誰かが間違えるか、言えなくなるまで繰り返す。</p> |
| 3 | 聞く活動 口まねする活動 | <p>■What would you like?の導入。</p> <p>What would you like? をたくさん聞く。</p> <p>【レストラン導入場面】</p> <p>①黒板に、メニューカードを貼る。 （英語ノートで使用する食べ物を拡大印刷しておく）</p> <p>②教師が店員、代表の子にお客をやらせる。</p> <p>③お客には、お盆を持たせ、おなかをすかせてお店に入ってくる役をさせる。</p> <p>④教師が、店員の役で、What would you like?と聞く。 児童は、~Please.で答える。</p> <p>⑤教師は、言われた食べ物をお盆の上に載せる。</p> <p>教師：Here you are.</p> |

| | | |
|---|---------------|---|
| | 口まねする活動 | <p>【チラシで What would you like?】 モスバーガーやマックやお弁当屋等のメニュー表を用意し、児童に配布する。 教師が子ども達に、〇〇のお店では、何が食べたいかを聞く。</p> <p>①黒板に拡大したメニュー表を貼る。 ②代表の児童を前に出して例示をする。 ②教師：What would you like? 〇〇円以内。と言いメニュー表に〇をさせる。 ③一人ずつのメニューに〇をする。 ④教師がはじから What would you like? と数人ずつ聞いていく。 ⑤何人かの児童を前に出し、みんなで What would you like?と聞く。 ※別のメニュー表があればメニュー表を変えて繰り返す。</p> |
| 4 | 口まねする活動 | <p>■What would you like?や I'd like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【食べ物ビンゴ】 ①英語ノート巻末のシートから 9 枚自分で選び、3×3 で並べる。 ②教師：What would you like? 児童 1 人に質問する。 児童：〇〇。 (単語で答えるはずなので、I'd like〇〇.の言い方を教える。) 教師：I'd like〇〇. 児童：I'd like〇〇。 ③聞いていた児童は、〇〇の絵カードがあったら裏返す。 ④以下、繰り返す。 ⑤慣れてきたら、みんなで What would you like? 児童 1 人に質問する。</p> |
| 5 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■What would you like?や I'd like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【ペアマッチゲーム】 ①英語ノート巻末シートから 6 枚好きなカードを選ぶ。 ②二重の円になる。 ③教師が例示をする。 ペアのカードをたくさん作ることを伝える。 向かい合った児童とジャンケンをする。 勝った方が質問をできる。 教師：What would you like? 児童：I'd like~.(ほしいカードを言わせる) 教師：児童が言ったカードを持っていたら Ok, Here you are.と言って渡す。 児童が言ったカードを持っていなかったら Sorry, no. ④教師の合図で、円の内側の子たちが移動していく。 ⑤時間が終わったら、席に戻り、ペアが何枚あるか確認する。</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>6</p> <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■What would you like?や I'd like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【自分のメニュー作り】</p> <p>①英語ノート P59 を開く。</p> <p>②グループの中で、店員とお客を決める。(定員は、グループで同じものを売る。お客は一人ずつ買い物に行く)</p> <p>③英語ノート巻末シートからペアでお店に出すメニューを10種類ほど選ばせる。</p> <p>同じメニューならば、枚数は好きなだけ用意して良い。 ※広告等から事前にメニューを用意させても面白い。</p> <p>④教師が例示をする。</p> <p>お店の前に行く。</p> <p>店員：What would you like? 教師：I'd like~. 店員：Here you are. 教師：Thank you.</p> <p>次のお店に行く。全てのお店で1点ずつ購入する。</p> <p>④時間を区切って交代させて行う。</p> |
| <p>7</p> <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■What would you like?や I'd like~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【課題メニュー作り】</p> <p>①グループの中で、店員とお客を決める。(2人ずつ等)</p> <p>②英語ノート巻末シートからペアでお店に出すメニューを10種類ほど選ばせる。</p> <p>同じメニューならば、枚数は好きなだけ用意して良い。 ※広告等から事前にメニューを用意させても面白い。</p> <p>③教師が例示をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題カードを一枚引く (課題カードには、どんなメニューを作るかの課題が書いてある。 例えば、ダイエットメニュー等) ・お店の前に行く。 <p>店員：What would you like? 教師：I'd like~. 店員：Here you are. 教師：Thank you.</p> <p>次のお店に行く。全てのお店で1点ずつ購入する。</p> <p>④時間を区切って交代させて行う。</p> <p>⑤最後に紹介させる。</p> |